

事業報告書（令和7年度）

事業名 支援の必要な親子と社会をつなぐ音楽活動

団体名 支援の必要な子と親の会たんぽぽの会 担当者名 後藤智子

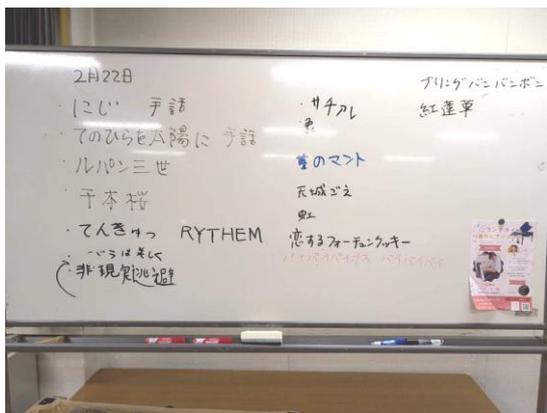
※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、講師、参加対象者、人数、内容等）

■定期活動 毎週土曜日 18:30~20:30 岡山市立東公民館

4/5 (12人)、4/12 (13人)、4/19 (20人)、4/26 (13人)、5/24 (17人)、5/31 (11人)、
6/7 (8人) 6/29 (18人)、7/5 瀬戸公民館 (18人) 7/13 (7人)、9/13 (13人)、9/20 (11人)
10/5 (10人)、11/15 (14人)、1/10 (16人) 1/17 (14人)、1/24 (11人)、2/7 (18人)、
2/14 (16人)

内容：早く来た人が機材等の準備をする。来た順にホワイトボードに演奏したい曲を書いていく。一巡したらまた演奏したい曲を書いて演奏していく。



■夏の音楽まつり 7/6 9:30~17:00 岡山市立瀬戸公民館 (51人)

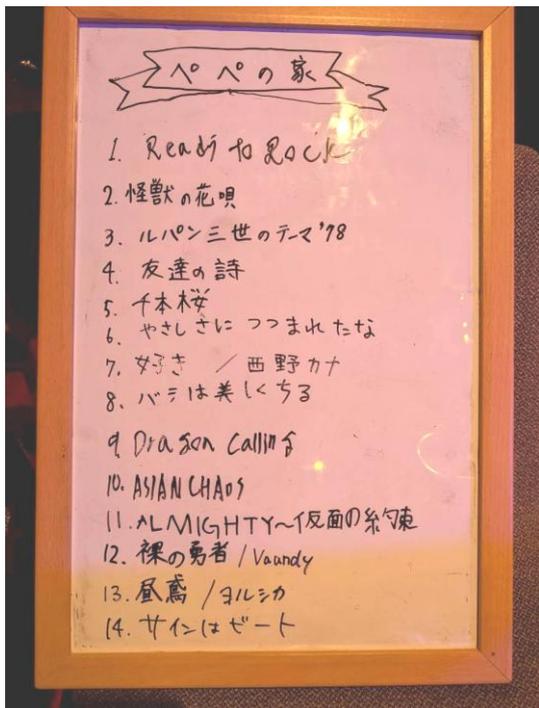
内容：チラシ、SNS でお知らせして、瀬戸公民館のホールで開催。練習してきた曲の発表をする。外部の演奏者にも参加してもらって交流する。



(様式第8号)

■ライブハウスで発表体験 8/31 17:00~20:00 ペペの家 (17人)

内容: 本格的な音響設備を使っでの発表体験。



■岡山マラソン沿道応援演奏 11/9 8:00~13:00 ペペの家前 (15人)

内容: 岡山県より依頼を受けての応援演奏。演奏することが喜んでもらえたり、誰かを応援することになる体験。



■福祉フェスティバル~みんなスター、パフォーマーさん大集合~参加 12/13、14 岡山市立東公民館 7人参加。

内容: 審査員の前でパフォーマンスを発表。メンバー7人が参加。



■年忘れライブ 12/27 17:00~21:00 岡山市立東公民館 (33人)

内容：ホワイトボードに演奏したい曲を書いて次々に発表。



■にじのねたのしいおんがくフェス 2/22 9:00~17:00 西ふれあいセンター (13人)

内容：西ふれあいセンターの大ホールでのフェスに参加。



2. ESDの視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

- ・夏の音楽まつりで楽器を破損したことにより、楽器の扱い方、保管の仕方についてメンバーで話し合った。楽器や備品を大切に扱う確認ができた。
- ・外部のイベントに参加することにより、他の団体の演奏を聴いたり、自分たちの演奏を

<p>聴いてもらったりする経験から、積極的に練習に取り組む姿が見られたり、次にも参加したい声が上がった。</p>
<p>② どのように学び合いを取り入れたか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 行事の後、振り返りの時間を設けて、感想を発表したり、発表を聞いたりする時間を設けた。・ 活動を決めるときにも、話し合いを設けてみんなで決めた。
<p>③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自分たちのホームグラウンドから出て、外の発表の場に出ていくことを提案した。参加しないメンバーもいるが、参加したメンバーは刺激を受け、次への活動への参加を積極的に考えるようになった。
<p>3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）</p> <ul style="list-style-type: none">・ イベント（発表の場）の場所が広がったことで、活動範囲、行動範囲が広がった。生活行動範囲が広がった。・ 様々な方が演奏サポートに入ってくださり、子どもたちへの理解が広がった。・ 自らが楽しんで活動に参加し、自らが次に向かって目標を立てて活動する姿が見られた。・ 支援の必要な子に対して、どう伝えたら伝わるか周囲が学ぶ機会ができた。
<p>4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）</p> <ul style="list-style-type: none">・ イベントに参加したことで、全盲の方、肢体不自由の方から見学希望があった。全盲の方は続けて参加されている。お互いの障害に対する理解がすすんだ。・ 活動が10年続いている。1つのコミュニティとしてなくてはならないものになってきている。